SHARP

シャープ社友会
栃　木　支　部
第２０号

日光

栃　木

発行責任者
岩村　博

タイトル　紺碧の空に、燦々と輝く日の光、緑豊かな大地。
自然に恵まれた栃木をシンボルにすると共に、世界遺産に登録された当地を代表する観光名所でもある「日光」を表します。

カラーコンセプト　空の青、日光の赤、栃木の緑を配し、カラーテレビ信号のR・G・Bをイメージし、AVシステム事業本部のルーツを象徴しています。又、緑は社友会のシンボルカラーでもあります。

輪王寺三仏堂と桜

三仏堂は輪王寺の本堂で、重層入母屋造り、銅版葺きの日光山内で最大の建築物である。
とりわけ春は、修学旅行、海外の観光客等で賑わっている。　撮影：只友　将弘（会員番号２０２６）

第十九回総会で新役員の体制を確立

栃木支部長　岩村　博

会員皆様のご協力により、この一年活動ができ第十九回総会を終えることができました。

平成十八年度まで役員でありました、中村、山崎、福本の三副支部長には今迄の役員改選期に、もう一期・もう一期と無理なお願いを受け入れて頂きましたが、今回の総会に於いて退任されました。永年役員を務めて頂き心より感謝申し上げ、今後共ご支援の程お願いします。

平成十八年度の活動成果は、社友会全支部の中で栃木支部だけ開設出来ていなかったホームページの開設が、推進委員のご尽力により実現できました。このホームページの活用を一人でも多くの皆さんに望みます。

初の試みでありました、社友会本部・新春年賀会の模様を衛星同時中継で実施。この衛星中継は会社の特別のご配慮により全支部に向けて行われました。

矢板市福祉の集いが開催され、栃木支部が永年に亘り高原基金（矢板市福祉協議会）に多額の浄財を寄付、地域福祉の為に尽くしたとして表彰を受けました。この基金は会員の皆さんからシャープサマーフェスティバルで提供して頂いた物品のバザー益金とカンパ金を毎年寄付してきた事によるものです。

福祉とは、全ての人が常に健康で文化的な生活を営む権利を国や自治体はもとより、社会全体が保障する制度であり、豊かな社会作りの基礎作りであると言えます。

従来の福祉は手当ての支給や施設の整備が中心でしたが、国や地方自治体の財政が逼迫している今日、人と人の係わりの中に福祉施策の展望を見出していかなければならないとしています。

一方、反省点は秋の懇親旅行です。例年の企画では参加者が少なく苦労をしてきましたので、日帰りバス旅行の計画で案内しましたが、この企画も参加者が少なくて実施できませんでした。又、一クラブ増部の検討も実現までには至っておりません。平成十九年度で幹事の皆さんとも十分協議し検討していきます。

平成十九年度の具体的な活動は、役員・幹事・副幹事・各クラブ役員等新体制を確立し、毎月定例役員会・幹事会を開催し活動計画の検討を行い活動を進めて行きます。

私たち社友会の会員も社会への貢献を支援していくという事でシャープグリーンクラブ（ＳＧＣ）を推進主体として、地球の環境保全活動など、ボランティア活動の取り組みに参加していきます。このＳＧＣ活動でシャープ全社で推進中の「シャープの森」活動が栃木でも旗揚げされました。この「シャープの森」活動の目的は、シャープグループの一人ひとりが身近な環境問題と向き合い自からの環境保全意識を高められるよう、労使が協調して地域に密着した環境ボランティア活動を企画運営する事により社会的責任の一端を果たすこと、「森・生き物・人のつながりを理解し、きずなを深め地球環境への優しい心をはぐくむ」としています。

労働組合栃木支部との連携を持ち労働組合からの要請についても役員会・幹事会で協議していきます。

私達社友会の会員も年々高齢になってきております。自分の健康は自身で管理する事は大切ですが、社友会も相談の窓口になり、役員・幹事が会員と顔をあわせる機会をつくります。

第十九回総会で新しい役員体制が出来ました。この役員体制で活動を取り組んでまいります。

会員皆様のさらなるご支援・ご協力をお願いします。

「中村ひさのぶ」市議会議員　二期目の当選を果たす

シャープ労働組合　栃木支部

執行委員長　印南　幸裕

日ごろは、支部長をはじめ、多くの皆様に労働組合の活動に対しまして格段のご支援とご協力を頂いている事に心より感謝申し上げます。

さて、四月二十二日投票で行なわれた統一地方選矢板市議会議員選挙におきましては、「中村ひさのぶ」現栃木支部副委員長が二期目の挑戦を致しました。

今年は議員定数を六人削減したことに加え、五人の新人候補者が立候補した事から、六人が落選をする大激戦となりました。

そのような中、「中村ひさのぶ」は、社友会の皆様をはじめ、協力会社、地元泉地区の皆様等々多くの皆様から暖かいご支援を頂き活動を進めてまいりました。

結果につきましてはご承知のように、立派な成績で二期目の当選を果たすことが出来ました。

これまで、ご支援を頂きました皆様に感謝申し上げます。

最後になりますが、社友会におきましても「頼られる」存在になってきておりますが、ますますのご発展と会員皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。

当選を祝す　スタッフ一同

矢板市議会議員　中村　ひさのぶ

この度の市議会議員選挙におきまして、社友会の皆様の温かくそして力強いご支援により、大変素晴らしい成績で二期目の当選を果たすことが出来ました。

ここに改めまして心より御礼申し上げます。

この感動を胸に、また、初心を忘れず皆様の代表としてその名を汚す事無く力一杯頑張ってまいります。

現在の矢板市には、少子化による小学校の統廃合や地域の活性化による自主財源の確保と閉塞感の払拭、安全で安心して暮らすための医療の充実や住環境の整備など取り組まなければならない多くの課題があります。

皆様のご意見やアイデアを戴き、これらの課題に全力で取り組み『夢と笑顔のあるまちづくり』の実現に向け、活動を進めてまいります。

今後も引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

第十九回総会報告

栃木支部総会は、六月三日（日）大田原市ふれあいの丘　シャトー・エスポワールに於いて開催されました。会員の参加者は六十三名と会社を代表してＡＶシステム事業本部総務部山下部長のご臨席を頂き、議案書に基づいて審議を行いました。

審議内容

一、十八年度活動報告
　会計報告並びに会計監査報告
二、十九年度活動計画と予算計画
三、各クラブより十八年度活動報告
　十九年度活動計画を報告

各審議事項とも満場一致で承認されました。

続いて役員改選が行われ、次の通り決まりました。

顧　問　浦川　正司
支 部 長　岩村　博
副支部長　安東　郁哉・山本東洋治・村上五十六
事務局長　増田　武司
事務局次長　日置　久義・網野　正輝
会　計　平山　勝
会計監査　古市　正昭・後藤　謙輔

総会終了後、昼食会に移り午後一時散会しました。

新役員就任挨拶

＊副支部長　安東　郁哉

平成十九年度役員改選に伴い、事務局長を退任し副支部長に就任することになりました。前中村事務局長の後任として、２年間事務局長の任務を大過なく遂行できました事は、会員皆様の協力の賜物と感謝いたします。今後も社友会運営には会員の皆様方のご協力を宜しくお願い致します。

＊副支部長　山本　東洋治

新年度からホームページ担当の副支部長に就任することになりました。支部ホームページが会員皆様方の新しい情報ソースとして又交流の場として有効的なものとなるよう、ページの工夫と共に内容の充実に努めて行きたいと考えています。会員皆様方の積極的なご協力をお願い致します。

＊副支部長　村上　五十六

この度副支部長に就任しました村上五十六です。社友会には二〇〇四年五月に入会し、その後二年間幹事をさせていただきました。その間に感じたのは、社友会の行事に参加する人が少ないのです。今後支部長をサポートし、社友会全員が参加しやすい環境作りに前進して行きますので一人でも多い参加をよろしくお願いします。

＊事務局長　増田　武司

今般の役員改選に伴い栃木支部の事務局を担当することになりました。任期中は会員皆様のご協力で社友会活動をスムーズに推進できるよう微力ながら尽力したいと思っています。皆様の積極的なご参加とご支援をよろしくお願い致します。

＊事務局次長　網野　正輝

平成十九年度役員改選に伴い事務局次長の要請を受け、新たに就任することになりました。任期満了まで全力で勤めさせていただきますので会員皆様のご協力とご支援を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

各クラブ幹事名

メビウスクラブ　仲谷　輝郎
カメラクラブ　只友　将弘
歩こう会　中村　茂
ゴルフ同好会　大橋　堅固

各班幹事名

（地域名は旧名で表示）

一班　西尾　順三（乙畑・片岡・氏家）
二班　粉川　昌三（東町）
三班　平山　勝（中・安沢）
四班　八木　弥（針生の内長峰地区）
五班　阿部　修一（針生・荒井・扇町の一部）
六班　網野　正輝（富田・本町・扇町・上町）
七班　磯　勝雄（末広・中の一部）
八班　梶原　祥宏（成田・土屋・沢）
九班　飯野　一男（木幡・川崎・境林）
十班　三堂寺時臣（館ノ川・高塩・塩谷）
十一班　山内　栄（長井・幸岡・下太田）
十二班　細川　美生（平野・泉）
十三班　山本　柴司（西那須野）
十四班　高橋　彰（西那須野、大田原の一部）
十五班　岡本興二郎（大田原）
十六班　朝倉　紘一（宇都宮北部）
十七班　前野　雄二（宇都宮南部）
十八班　事務局担当（その他地域）

役員退任あいさつ

中村　義雄

この度の役員改選に基づき退任することになりました。

振り返りますと、当初は六〇名程度の会員数でしたが、年々会員数も増加し現在では二百五十名を超える組織となり、この様な中で役員の皆さん、そして会員の皆さんに支えられ平成四年五月から事務局長兼会計そして副支部長の任務に携わって足かけ十五年間、社友会発展の為、務めさせて頂きましたのは皆々様の温かいご支援とご協力のお陰で今日まで私なりに無事大任を務め終える事が出来た事を厚く御礼申し上げます。ありがとう御座いました。

役員任期中数多い想い出での中で特に印象に残るのは就任早々の三年間連続で本部の総会に出席した事です。青春時代をシャープ（早川電機）と共に頑張った、大阪の旧友達と逢えた事がとても懐かしく思い出されました。

退任にあたり、当会では毎年恒例の新春賀詞交歓会・総会・秋の懇親旅行等、又、各クラブの活動行事等企画実施されていますが、人員増加の反面参加人員が低迷しております。会員の皆さんが一人でも多く参加され、楽しく過ごせる談笑の場としてご協力をお願い致します。

最後に、会員皆々様のご健康を祈念し、退任の挨拶と致します。

山崎　一義

この度、副支部長を退任させて頂くことになりました。在任中はいろいろご協力を頂き、ありがとう御座いました。

三期六年間、何とか務めさせていただきましたが、社友会の会員数も、私が入会した頃は一五〇人前後でしたが現在は三〇〇人近くに増えており、組織活動もひとり一人が社友としての連帯感の高揚の中、次第に充実してきたように思いますが、社友会旅行、クラブ活動等への参加者が会員数の割りに少ないような気もするのです。

人生六〇年、いえ九〇年時代となりました。健康造りのためゴルフ、歩こう会、脳の活性化ためにパソコン、趣味を生かしてカメラなど、積極的に参加して頂き、あり余った自分の時間を有意義に使おうではありませんか？　私も幾つかのクラブに入会して心地よい緊張を感じながら楽しく参加しております。

これからも当支部、クラブ活動への入会者が増え活発に活動して下さることを期待しております。

福本　英之

この度の役員改選に於いて、任期満了に伴い副支部長を退任する事に成りました。二年間、支部長をはじめ各会員皆様方のご支援・ご協力に支えられ、何とか無事に終えることが出来ました。本当にありがとう御座いました。

振り返って見ますと、私が社友会に入って良かったと思うのは、三友さんにパソコンを始めないかと誘われメビウスクラブに入り基礎からご指導を受け、今ではパソコンの「パの字」位まで出来る様になったことです。人にはいろいろな出会いが有ると思いますがパソコンに出会っていなかったら、多分、副支部長も引き受け無かったと思います。

私の担当は主に企画でしたが何の行事を行うにも、ちょっとしたメモ（計画書）や会報の作成にもパソコンが不可欠となり、非常に役立って助かりました。特に、メビウスクラブの方々には、会報やホームページで、大変お世話になりました。本当に有難うございました。

これからも、いろいろな出会いが有ると思いますが一日一日を大切に楽しい日々を過ごしたいと思っています。

最後に、栃木支部社友会は今年で設立十九年を迎え、会員数も年々増え二五四名（四月末現在）と大世帯になり今後の運営課題も多々有りますが、二十年目を一つの節目として新たな気持ちで、支部長を中心に新役員・新幹事さんの積極的な活動で「楽しめる社友会」を作って頂ければと思います。

今後の社友会の発展を心より願って、退任の挨拶と致します。

登山とは行動の美学である!!

第一班幹事　西尾順三
妻　美代子

私は、登山をするにあたり、家族の理解あってのものだと思い、日々感謝して登っています。

私は、山の仲間とオールラウンド自然と同化し、遊んでいます。

★・・アイスクライミング、春季の雪稜、山スキー、沢登り、ロッククライミング、縦走、ハイキング、海外登山、等、・・★さまざまな遊びをしています。

時には、危険極まりない遊びの時もあるのですが、私は、その時その時の、息吹を感じられるのが好きで好きでたまらないのです。

しかし自然は、優しく包みこんでくれ、同化させてくれる時もありますが、何者も寄せ付けない厳しい時もあります。それでも私は、自然の魅力の虜になり行動しています。

最近、充実した登山は、谷川・東尾根（一ノ倉沢とマチガ沢中間尾根）の雪稜でした。

朝日さす一ノ倉沢

一ノ倉沢から一ノ沢に入り、東尾根の取り付きまで、ラッセルして登りました。登攀開始からザイルを着け、全行程、スタカットビレイ【注】で登りました。

今年は、暖冬で積雪が少なくその分急斜面に成っており、安全、かつ、慎重に行動したためか、時間がかかり、穏やかだったお天気も、午後から、段々下り坂になり、谷川特有の強い風が吹き荒れ、そのため私は、耳に軽い凍傷を負ってしまった。

山頂直下で、ついに、ガスに包まれ、ガスの中からザイルが伸びているだけで、２５メートル先のパートナーの姿は見えなくなりガスの中に取り残された私は、ザイルで繋がっているとはいえ、気持ちの良いものではなかった、「登っていいよ」とコールの掛かる時を待った。

ガスの中、パートナーは絶妙なルートファンテングで、谷川オキノ耳の山頂に抜け、パートナーのコールと共に、登り私も山頂に抜けた。

喜びもつかの間、早々に肩の小屋を目指し移動したが、ガスで小屋が分からず焦りました。

唯一道標が確認でき、そこで一旦ビバーク体制を取ったものの明日は確実に荒天になると分かっていたので、天神尾根を下山することに決め、ヘッドランプで下りました。天神尾根は、登山者のトレースで迷うことと無く、天神スキー場まで下りられ、いつもスキーで滑っている田尻沢スキーコースを下り、谷川ロープウェイ駐車場に到着したのは、夜の十時過ぎでした。

無事の下山を家族に連絡して、充実感いっぱいの一日を終えました。

私にとって登山とは、行動することイコール健康の源なのです。

楽しくなければ登山じゃない～～～と言い残し、あきれ返っている主人に構わず、また山に行くのです。

【注】・・確保点（アンカー）に確保者（ビレイヤー）がいて、その人によるザイルでの確保（ビレイ）を受けながらリーダー（トップ）が進んでいき、次のアンカーに着いたら今度はトップがそこで確保して下の者を登らせる、というロープワーク方法を「スタカットビレイ」と呼ぶ。

尚、今までは、山岳同人「楽稜」として活動してまいりましたが、４月から、山岳連盟に加入して氏家「楽稜」と山岳会名に改めました。

ホームページのリニューアルが完了していませんが、URL は http://www.geocities.jp/k_space_ftr/ になります。

是非一度見てください。

稲作農業に携わって

松田輝臣

一昨年に退職して、家の一町三反歩の稲作農業を受け持つようになりました。最初は農業は誰でも簡単に出来るものとかかっていましたが、現実には、毎日が大変で苦難の連続でした。

農家に婿養子した私は今まで農業は会社の休みに少し手伝う程度でしたが、退職後全てを任せられた状態で、何をどうやったらいいか戸惑ったのが実状で、農協に出向いて聞きあさったり、近所の農家に別の用事で行ったときにそれとなく聞いたりの連続でした。

新聞等でよく団塊の世代の人が退職後に趣味を兼ねて農業に勤しむことを聞きます。あちらは、失敗してもさほど影響のない範囲ですから、気軽に出来る訳ですが、私の場合は約三、九〇〇坪の農地が相手ですから、失敗すれば、責任は重大です。どこの農家も作業マニュアルは一切なく、勘と経験でやっているのが大半です。例えば、蛙が鳴くから、そろそろ田植えとか、那須茶臼岳から野州下ろしが吹くから稲刈りといった調子です。手始めとして、農機具トラクター、田植え機、コンバインなどの操作について、知る必要があり、農機具の取り扱い説明書を熟読、慣らし運転を行うことから、始めましたが、最初のうちはなかなかうまくいかず、これも人に聞いて分かった状態です。車の運転より、難しいのですが、家の敷地内での運転は無免許でもいいということで、何度も何度も慣れるまで、運転を行いました。

いかに美味しいお米をつくるかは、まず田んぼの土作りが基本です。近所の酪農家から熟成した堆肥を入手してまき、更に農協から購入した化学肥料を二回まき、よくトラクターで攪拌した後、田に水を引き込んで更によく攪拌、一方、ビニールハウスで、購入したモミ種を苗箱に均一に撒いて、芽だし作業を行います。

田植えの後に田んぼに除草剤を入れて、雑草の繁殖を抑える必要があります。除草剤にも粉状のものから液状、粒状のものとあり、それぞれ使い方を間違えると、田んぼの中が雑草で一杯になってしまいます。まして今日の農協での米は低農薬でなければ、安い一般米になってしまいます。除草剤を使えるのは一回だけのチャンスしかありません。失敗すれば、後で手で取るしかありません。実は白状しますと、後になって田の草取りでさんざんな目にあいました。それは田んぼの起伏が原因で凸部が除草剤が効かず、いたるところで、ヒエが繁殖してしまったことです。ところがこのヒエがまた問題です。稲とそっくりな顔で見分けが殆どつきません。よく見れば、節のところに僅かにヒゲが見られるのが、稲でそれ以外はヒエということです。ヒエはコンバインで分別できますから、放っておいてもいいのですが、稲よりも成長が早く養分を吸い取られてしまいます。稲よりも丈が長く、見た目もよくありません。

六月に入った頃から間断・潅水の水管理が大切になります。我が家は那須疎水から引き込んでいますが、昨年のように雨が多い年はその管理が難しく、いつ止水したらいいか迷います。

八月後半になって、近所の田んぼで、いもち病・穂首病という稲の病気が出たという騒ぎがありました。それがどんなものかも分からず、本を購入して、やっと知った訳ですが、自分の家の田んぼでも同じ症状が出ており、あわてて消毒して蔓延をくい止めた経過があります。

稲刈りから乾燥、籾摺り等もそれぞれモミ目標水分一五％、調整網目一・八五㎜と決められた仕様になっており、これまた大変です。ようやく収穫した時は、ホットした気分でした。周りの農家では不作と言って栃木県も九四％とやや不作と公表された中、我が家は何とか一昨年と同じ一〇〇％で締めくくることが出来ました。我ながらよくやったと自分で自分を褒めたものです。

今や日本の食糧自給率四〇％以下となっています。海外からの輸入に頼っています。政府は認定農業員制を作って、効率を上げてもっと自給率を上げていきたい考えです。しかし認定農業員の資格には四町歩以上の大規模農家でなければならず、それ以下の我が家のような小さな耕作面積の農家は採算割れから自然消滅していくものと思われます。その前兆として、休耕田になった土地が散見されます。

地域社会への環境を考えると荒れた土地からいろんな害虫（例えば、ウンカやアオクサ虫）が大量発生したり、雑草で美観を損ねたりします。こうした現状ですが、たかが米、されど米、何とか主食の米だけは低農薬でおいしい米を丹精込めてこれからも頑張って作っていきたいと思います。

ともなりそば処　信生庵

大島郁郎

今回、地元味自慢の店「ともなりそば処　信生庵」を紹介します。

場所は、木幡交差点を西に約五百メートル行くと川崎城跡が見えてきます。その下に水車小屋が見えます、そこが「当店」です。

平成十四年四月一日開店、地産地所村おこし活生事業として、ともなりそば組合を発足、私が組合長を務めることに成りました。

そばの栽培から収穫、製粉、そば打ちまでの全行程を組合員自ら行い、地元矢板産のそばを石臼で挽いたこだわりの手打ちそばです。のど越しで感じる香りよいそばをご賞味下さい。

メニューは、もりそば・ざるそば・天ざる季節の山菜てんぷら等約三十種類あり、中でも一番人気は「ともなり御膳」です。又、他にうどんも有ります。

組合員約十二名の皆さんが腕によりをかけて、頑張ってやっています。近郷近在の方々はもちろん近くにある城の湯温泉のお客さんも宮川のほとりの遊歩道を歩きながら来てくれます。

社友会の皆さんも大歓迎ですので、近くにお越しの節には、是非お立ち寄り下さい。

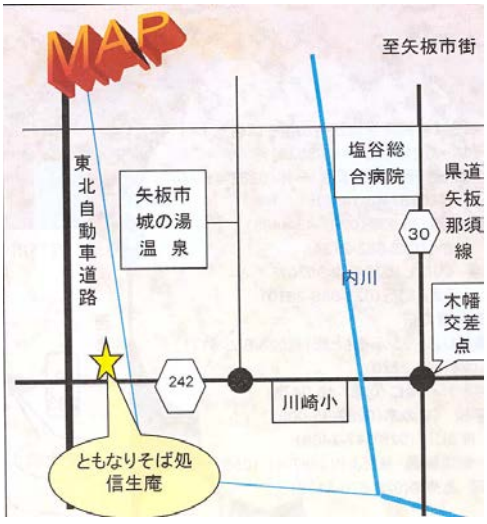
「ともなりそば処 信生庵」の由来

そば店の西側にある川崎城の初代城主である塩谷朝業（ともなり）から由来しています。川崎城は 1199 年から 1203 年頃に築かれたと言われています。

塩谷氏五代朝義に嗣子がなく、宇都宮から四代城主業綱の二男の竹千代を養子に迎えた。養父、朝義と実父、業綱の頭名を取り合わせ朝業（ともなり）と命名して塩谷五代の跡を継いで 1200 年頃川崎城を築いて初代城主となった。

又、朝業は歌の道にも優れた才を持ち、歌人としても名が知られていた。しかしながら 1219 年その時の将軍源実朝は甥の公暁に殺害されてしまい、その警護に当たっていた朝業は 1 周忌が過ぎた頃、仏門に出家して信生と名乗った。その後旅に出て歌人として歌を詠み「信生法師集」を書き、旅の紀行文として編集している。

「信生庵」の信生は、川崎城の初代城主塩谷朝業が仏門に出家した為「信生」と名乗りその名が命名の由来である。



住所　矢板市川崎反町五九の一
電話　〇二八七　四三―四四三六

ホームページの講習会風景

昨年の十二月に栃木支部のホームページを開設しました。一日平均三十件のアクセスがあります。皆さんもアクセスいただき知人・友人にＰＲを御願い致します。

開設の立ち上げには、経験者である粉川・山本の両会員にご尽力を頂きました。将来は、各クラブで更新や新しいページ作りが出来るように、各クラブの有志に技術講習会を開催しています。そして早くも卒業の声も聞こえる程に上達してきました。

粉川昌三・山本東洋治の両講師

各自パソコンを持参しての実技講座

この各クラブの有志が、更にクラブ内で普及を図ってホームページ人口が増加することを期待しています。個人でホームページの開設を考えている方は、クラブに入会して趣味を活かしながらホームページの技術を習得されては如何ですか。

ホームページ委員会

メビウスクラブ

入会案内：年会費（4～3月）は、2,000円です。　新規入会者は、初年度に限り1,000円です。
入会金は、不要です。

活動内容：定例会・・・毎月第1火曜日　午前10時～12時まで。
講習会・・・月2～3回、午前9時30分～12時まで。
テーマを決めた講習と個人の要望と技量に応じて、マンツウマンの講習を織り交ぜて実施していきます。
向こう3ヶ月間の予定は、次の通りです。

	7月	8月	9月
定例会	3日（火）	7日（火）am	4日（火）
実務研修1回目	11日（水）	7日（火）pm	12日（水）
実務研修2回目	18日（水）	22日（水）	26日（水）

ホームページ：9頁でも記載されているように、メビウスクラブ内でもホームページの勉強会を取り入れていく予定です。この勉強会に是非ご参加頂きます様ご案内いたします。詳しいことは、事務局にお問い合わせ願います。
見学歓迎：講習会の様子を見学にお越しください。
日程が変更する場合がありますので、事務局に確認を御願いします。
問い合わせと
入会申込み：事務局　山路規生 0287-37-0125　yamajinorio@herb.ocn.ne.jp 迄。

メンバー：会　長：仲谷　輝郎
副会長：古市　正昭
高橋　　彰
永谷　光弘
会　計：安東　郁哉
事務局：山路　規生
会　員：木村　　正　中村　義雄
山崎　一義　浦川　正司
三友　宏章　福本　英之
平山　　勝　日置　久義
宮下　喜代司
平成19年6月現在　15名

開設直後のホームページを初披露した定例会議の様子。

カメラ　クラブ

■“桜”撮影会実施

４月 20 日、本年度初めの活動として、桜の撮影会を実施しました。
早朝６時、指導講師の村上勲氏同行のもとクラブ会員７名が参加、撮影地福島県郡山市へ。
枝垂桜の名所「三春町」の福聚寺から「中田町」の地蔵桜、不動桜、伊勢桜、そして**「白河市」の乙姫桜**へと北から南へ巡り、桜撮影三昧でした。今回は桜の開花時期と天候に恵まれ、心地よい疲れと共に楽しい撮影会でした。

「福聚寺のしだれ桜」

「不動桜」

■カメラクラブ活動紹介

原則として毎月第２水曜日に撮影会、定例会、写真展などを実施しています。

- **撮影会：**軽いハイキングを兼ねて公園、山、渓谷など自然と対話しながら講師の撮影指導も得て、写真撮影を楽しみます。（フィルムカメラ、デジタルカメラは問いません）
- **定例会：**写真撮影の基礎から作品の講評などを通して、撮影技術の向上と会員相互の親睦を図ります。
- **作品展：**写真の上手・下手を問わず、年１～２回会員の写真を持ち寄って展示、作品に仕上げる楽しさを味わえます。又、外部の写真コンテストへの応募の手伝いも行います。

（月々の活動状況は栃木支部のホームページでも紹介しています）

■平成１９年度活動計画

計画年月日	活動内容	計画年月日	活動内容
2007 年　4月２０日	桜の撮影会（実施済み）	2007 年　10 月１０日	定例会（作品講評会）
5月　９日	作品講評、総会展示準備	11 月１４日	紅葉の撮影会
6月１３日	新緑の撮影会	12 月１２日	定例会（作品講評会）
7月１１日	定例会（作品講評会）	2008 年　１月　９日	定例会（新年会）
8月　８日	作品展（ふれあい館）	２月１３日	冬景色の撮影会
9月１２日	棚田の撮影会	３月１２日	定例会（作品講評会）

新入会員大歓迎！

お問い合わせ：　幹事　只　友　将　弘　　電話：０９０－３２４８－７３０９

ゴ ル フ 同 好 会

【会員募集】

ゴルフ同好会は会員相互の親睦と健康増進を目的に、運動不足とストレス解消のため毎月一回定期的に行事を開催しています。行事は、コンペと研修会を３月から１１月まで交互に開催しています。

現在ゴルフ同好会会員は７７名で、行事参加者は３２名から３６名と多くの方の参加を頂いております。　日頃の練習成果を発揮頂く場として、気軽に参加頂き会員相互の親睦を深めては如何でしょうか。　やってみよう、参加してみようと思われる方は下記幹事まで連絡下さい。

スタート前の記念撮影　　千成カントリークラブ（平成１９年5月２５日）

第２４回研修会開催予定（6月２５日）
　栃の木カントリークラブ
第５９回コンペ開催予定（7月３１日）
　大日向カントリー倶楽部
第２５回研修会開催予定（8月）
第６０回コンペ開催予定（9月）
第２６回研修会開催予定（１０月）

問い合わせ
幹　事：大橋　堅固
電　話：０２８－６８２－０７５３
メール：khtm23@ybb.ne.jp
携帯電話０９０－２２３７－９１６５

平成１９年度開催報告と予定

第５７回コンペ開催（3月２２日）
　矢板カントリークラブ（参加３３名）
・優勝：木村　修氏　・準優勝：斎藤清一氏
・３位：生嶋良幸氏
第２３回研修会開催（4月１６日）
　塩原カントリークラブ（参加２７名）
第５８回コンペ開催（5月２５日）
　千成ゴルフクラブ（参加２９名）
・優勝：井村　俊朗　・準優勝：小島　保二
・３位：廣島　好美

歩　こ　う　会　　会員募集中

●活動状況

■第４６回　龍王峡・川治
H18年１１月１２日（日）参加人員２４名

浜子吊り橋にて

■第４７回　鷲子山（トリノコサン）
H19年1月２１日（日）参加人員２７名

鷲子山上神社大鳥居前にて

●歩こう会の案内

◇栃木県内、近県の山、渓谷、湿原等　景勝地の日帰りトレッキング。(軽登山又はハイキング)
◇コースの難易度は初心者向き、一般向きを交えて実施。歩行距離６～８Km、３～４時間程度。
◇トレッキングの後、時間があれば温泉に入り疲れを癒し、心身のリフレッシュを図る。

●平成１９年度　スケジュール

No	実　施　月　日	行　先		
第４９回	H19年 4月 8日(日)	筑波山	茨城県	日本百名山
第５０回	〃　5月 13日(日)	横根山高原（井戸湿原）	鹿　沼	栃木百名山
第５１回	〃　7月 8日(日)	磐梯山	福島県	日本百名山
第５２回	〃　9月 9日(日)	尾瀬ヶ原　（鳩待峠から湿原半周）	群馬県	
第５３回	〃　11月 11日(日)	妙義山麓ハイキングコース	群馬県	関東百名山
第５４回	H20年 1月 20日(日)	笠間稲荷神社参拝	茨城県	
第５５回	〃　3月 9日(日)	大坊山(低山ながら展望・変化に富む)	足　利	

基本的には隔月毎に、年間６～７回は実施します。都合により一部変更する場合もあります。
上記の例会以外に有志による小パーティ夏山トレッキングを随時実施します。

●「歩こう会」の運営組織

［会　長］中村　茂　　［副会長］山上哲夫・増田武司・尾崎亘宏　　［会　計］福山和夫
［監　査］安東郁哉・志賀　実　　［幹　事］城本　昭・山崎一義・細川美生・三浦勝利・片岡一紀

●会員の募集

・入会金　　年間 2,000 円（１０月以降の途中入会は 1,000 円）但し　家族会員は不要。
・入会申込　　歩こう会の会長又は役員まで
・年度切替え　４月度より。

●参加申込

・例会の案内　詳細は、その都度会員宛にハガキにて連絡します。
・参加費　　案内に基づくバス代、保険代等の実費の振り込みを以て、参加の意思表示としています。

問い合わせは　　中村　茂　　Tel　0287-44-0097　Eメール　snkmr36@ybb.ne.jp

新規入会者紹介

会員番号　三六四五
氏　名　杉岡　和彦
生年月日　昭和二十年
十月二十日

二〇〇六年十月二十一日を持ちまして、栃木支部社友会に入会させて頂きました。在職時はＴＶ事業・液晶事業に加え関連する海外生産拠点設立、ＥＴＣ経験をさせて頂きました。十四年余りの単身赴任生活を終り栃木に帰ってきました。趣味はゴルフです。是非誘ってください。宜しくお願い致します。

会員番号　三六八〇
氏　名　坂本　幸夫
生年月日　昭和二十一年
十二月二十五日

昨年末に定年を迎えることが出来ました。社友会の皆様宜しくお願い致します。これからは鮎釣りと日帰り温泉だけでなく今までに出来なかった何かを探して行きたいと思います。

会員番号　三六八四
氏　名　奥村　徳男
生年月日　昭和二十一年
十二月二十五日

昨年末の退社だったので一週間で新年、もろもろの手続に追われ一月がアッと言う間に過ぎ、二月よりリフレッシュと健康のためウォーキングを始め名所旧跡、温泉など訪ねています。取り敢えずは那須塩原・白河辺りです。皆様宜しく。

会員番号　三六九〇
氏　名　丸山　昭治
生年月日　昭和二十一年
十二月二十二日

お陰さまで定年を迎える事が出来ました。ゴルフ・山歩き・写真・Ｒ／Ｃ模型・アマチュア無線など多趣味です。仲間に入れて頂ければ幸いです。四月以降当面マレーシアで再就職しますので、当分お預けですが・・・

会員番号　三六九一
氏　名　森田　美博
生年月日　昭和二十二年
一月六日

退職するや否や、地域活動の役をおおせつかり農村地域活性化に未だ良くわからないながら頑張っているこの頃です。

会員番号　三七二七
氏　名　赤塚　忠明
生年月日　昭和二十一年
二月二十一日

一年間専門社員として勤務し今年二月二十一日に退職しました。

毎日が日曜日になり長年放っておいた庭の整理等手掛けています。趣味と言っても読書や映画くらいで家でゴロゴロしている時間のほうが長いのが近況です。若い頃は子供を連れてスキー良く行きましたが、今ではほとんど行きません。社友会の歩こう会に入って少しでも体を動かしたいと思いますので宜しくお願い致します。

会員番号　三七六六
氏　名　小林　欽吾
生年月日　昭和二十二年
四月五日

退職後那須塩原市の社会福祉協議会にて、社会活動（ボランティア）を行なっております。今後はシャープファミリーの一員として積極的に社友会に参加させていただきたく宜しくお願い致します。

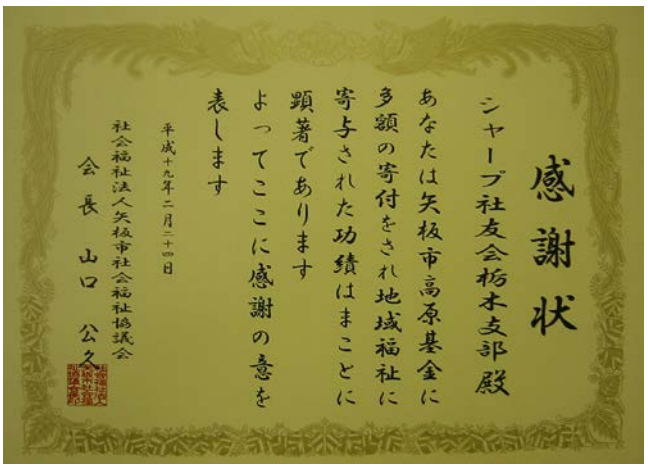
会員番号　三六四九
氏　名　五十嵐　正明
生年月日　昭和二十一年
九月六日

会員番号　三六五〇
氏　名　相馬　セツ子
生年月日　昭和二十一年
十月二十一日

会員番号　三六五二
氏　名　小笠原　和治
生年月日　昭和二十一年
十一月二十日

矢板市福祉のつどいで表彰を受ける

二月二十四日(土)矢板市福祉のつどいが開催され、社友会栃木支部が永年に亘り（矢板市高原基金）に多額の浄財を寄付、地域福祉のためにその功績が顕著であるとして表彰をうけました。
この寄付は、会員の皆さんから「シャープサマーフェスティバル」で提供していただいた物品のバザー益金と、カンパ金を毎年寄付してきた事によるものです。


感謝状

シャープ社友会栃木支部殿

あなたは矢板市高原基金に多額の寄付をされ地域福祉に寄与された功績はまことに顕著であります
よってここに感謝の意を表します

平成十九年二月二十四日

社会福祉法人矢板市社会福祉協議会
会長　山口　公久

この表彰は平成七年より毎年開催されるサマーフェスティバルの、バザー売上金とカンパ金を永年に亘り寄付してきました。今年度も七月二十八日に開催が予定されています。会員皆様へは七月中旬に幹事さんがバザー提供の協力をお願いにお伺いいたします。
多数の提供品とカンパをお願い致します。
尚当日には家族お誘いの上参加を頂きますようお待ちしています。

祝：米寿・古稀

お目出とう御座います

会員番号	御祝い	お　名　前	御　祝　い　日
８２	米　寿	**広 尾 義 治**	平成19年05月21日
９６６	古　希	**大 本 武 美**	平成19年01月01日
９８０	古　希	**鳥 居　　勉**	平成19年01月27日
１０１７	古　希	**石 井　　光**	平成19年03月20日
１０５５	古　希	**永 谷 光 弘**	平成19年05月18日
１０６０	古　希	**渡 辺 主 税**	平成19年05月23日
１０６１	古　希	**岡 沢 幸 男**	平成19年05月25日

編集後記

＊「日光」第二十号を刊行できました事を喜び、編集に携わって頂いた編集委員各位に感謝します。

＊新年度の活動方針・予算も総会で決まり新体制も整えられて、会員の積極的な参加と活動が期待されます。

＊矢板市福祉のつどいで感謝の表彰を受けました。今年もバザーが開催されます。多くの会員の善意が形となって表すことが出来ますよう願っています。

＊来年は二十周年記念号を予定。

本部新春年賀会

一月二十三日　社友会本部

新春年賀会の模様を衛星同時中継で実施

この衛星中継は会社の特別のご配慮により全支部に向けて行われました。

衛星中継では、蛇草会長のご挨拶、町田社長からは今年の方針、辻相談役のご挨拶、更に会社役員の紹介をいただきました。

参加者七十二名

新春年賀会開始前の風景

新春賀詞交歓会

余興　福永 勝行 氏

新入会員の紹介

懇親風景 昔の仲間と談笑

栃木支部恒例の新春賀詞交歓会を、一月二十八日（一泊）で大田原市ふれあいの丘シャトー・エスポワールにて、盛大に行われました。

参加者　五十九名

栃木支部第十九回総会

第十九回　栃木支部総会　出席者一同
６月３日（日）　於　大田原市ふれあいの丘

平成十九年度活動計画を
説明　岩村 支部長